



低公害車普及促進等対策費 補助金交付事例

近物レックス株式会社

代表取締役社長 **小中章義**

平成21年2月17日

全国貨物量推移

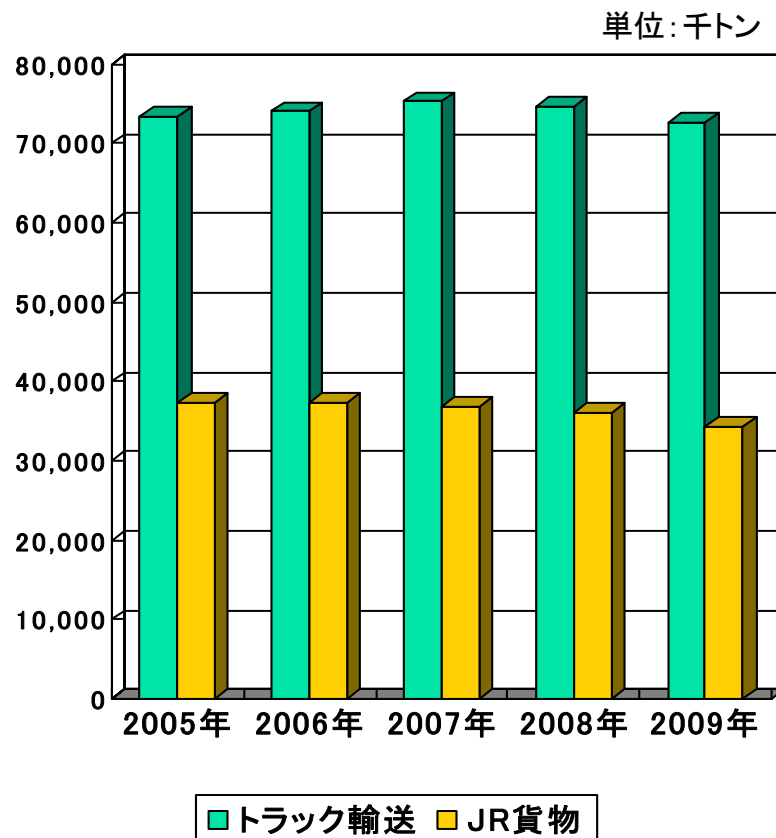


物量低下による問題点

車両台数減少

収入低迷

企業撤退

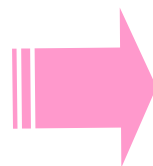


資料:国土交通省

貨物量減による悪循環

運送収入の低下

固定費による経営圧迫



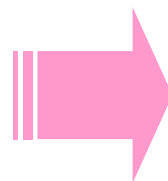
企業撤退



・運賃ダンピング競争

・業者間の協力関係悪化

・車両代替等の設備投資
ができない



輸送業界発展の足枷

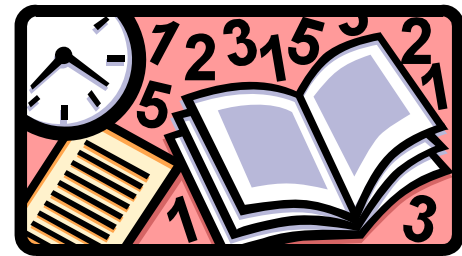
CO₂排出量増加

悪循環回避の取り組み

■ ① 現状を確実に把握する

- ・テリトリー毎の貨物量
- ・収支バランス

・同業他社の状況(情報交換)



■ ② 同業他社との協調

- ・個々の諸問題、業務内容を共有化

■ ③ 荷主の理解

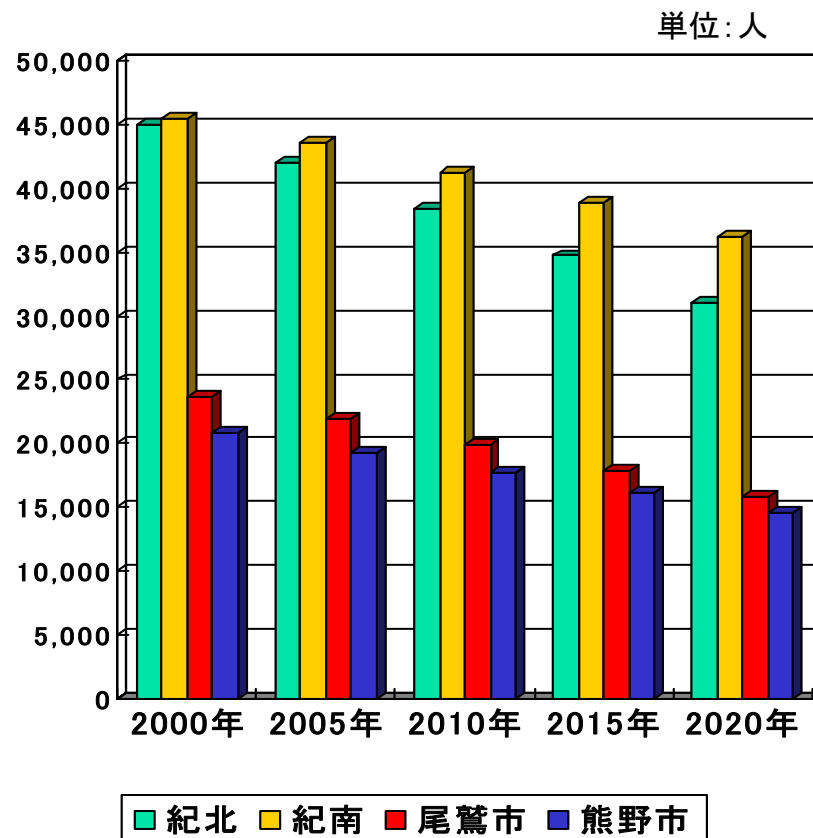
- ・輸送効率に伴うリスクヘッジを行なう
- ・ビジネスパートナーとして、計画の賛同を得る

紀州エリア人口増減実績予測

人口低下による問題点

地域生産減少

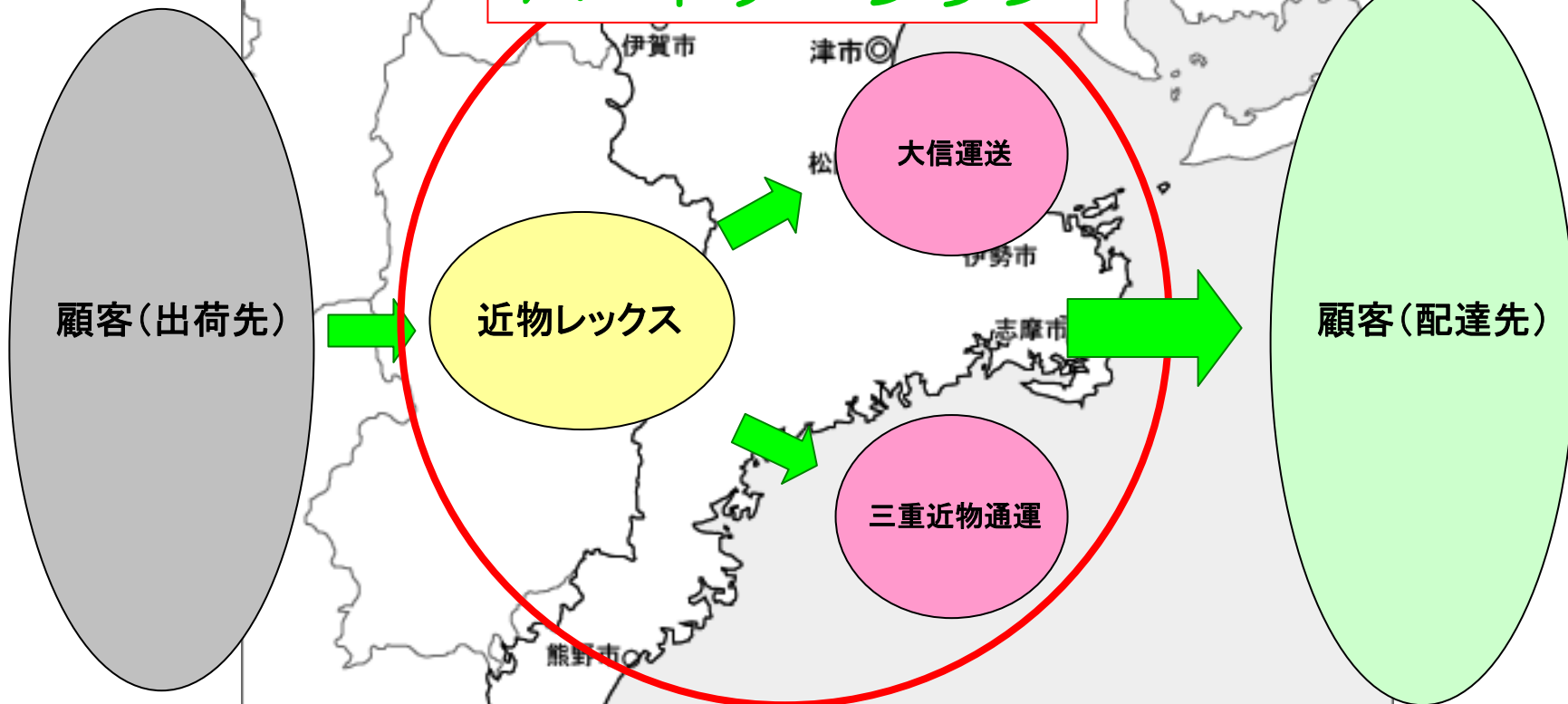
消費低迷



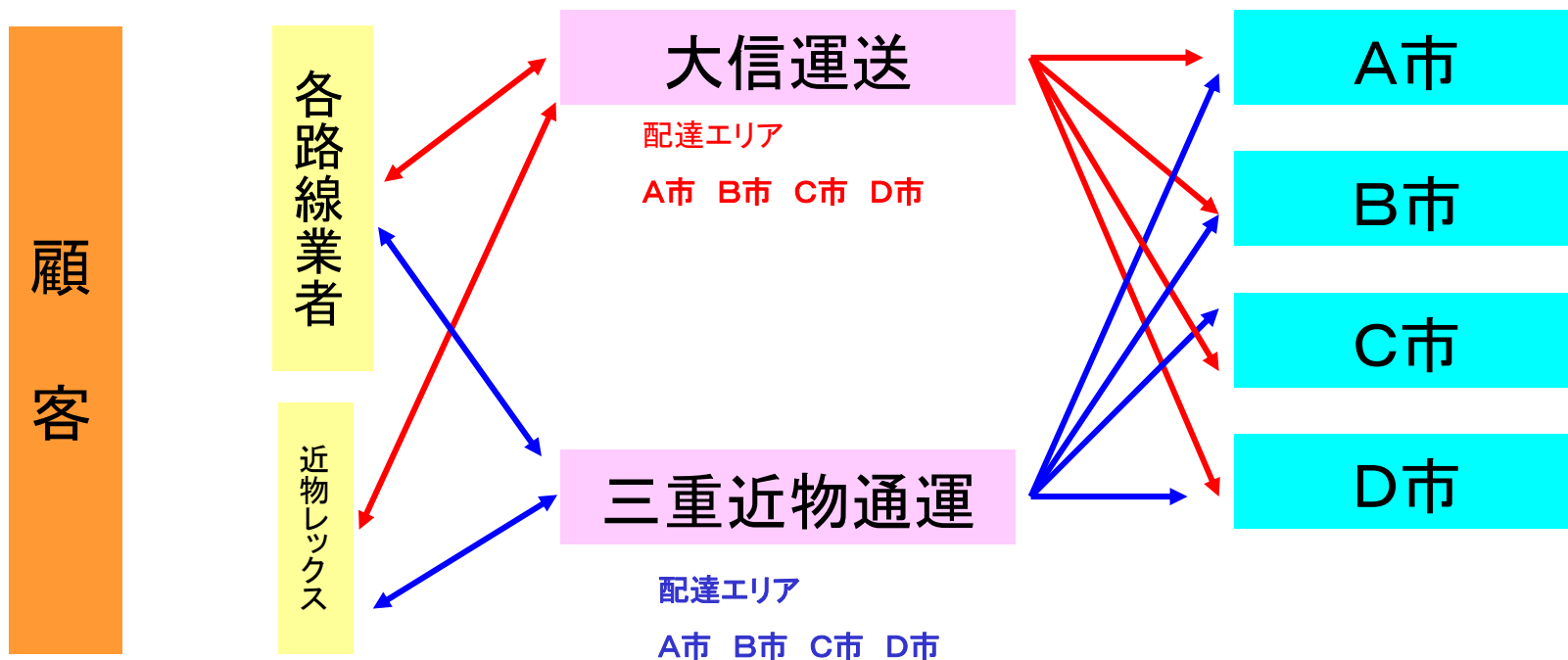
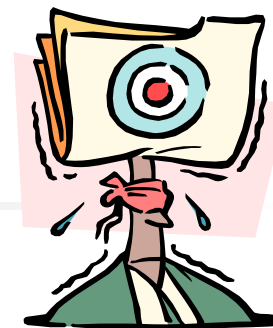
資料：三重県

当社のポジション

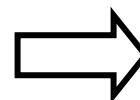
パートナーシップ



輸送効率提案前

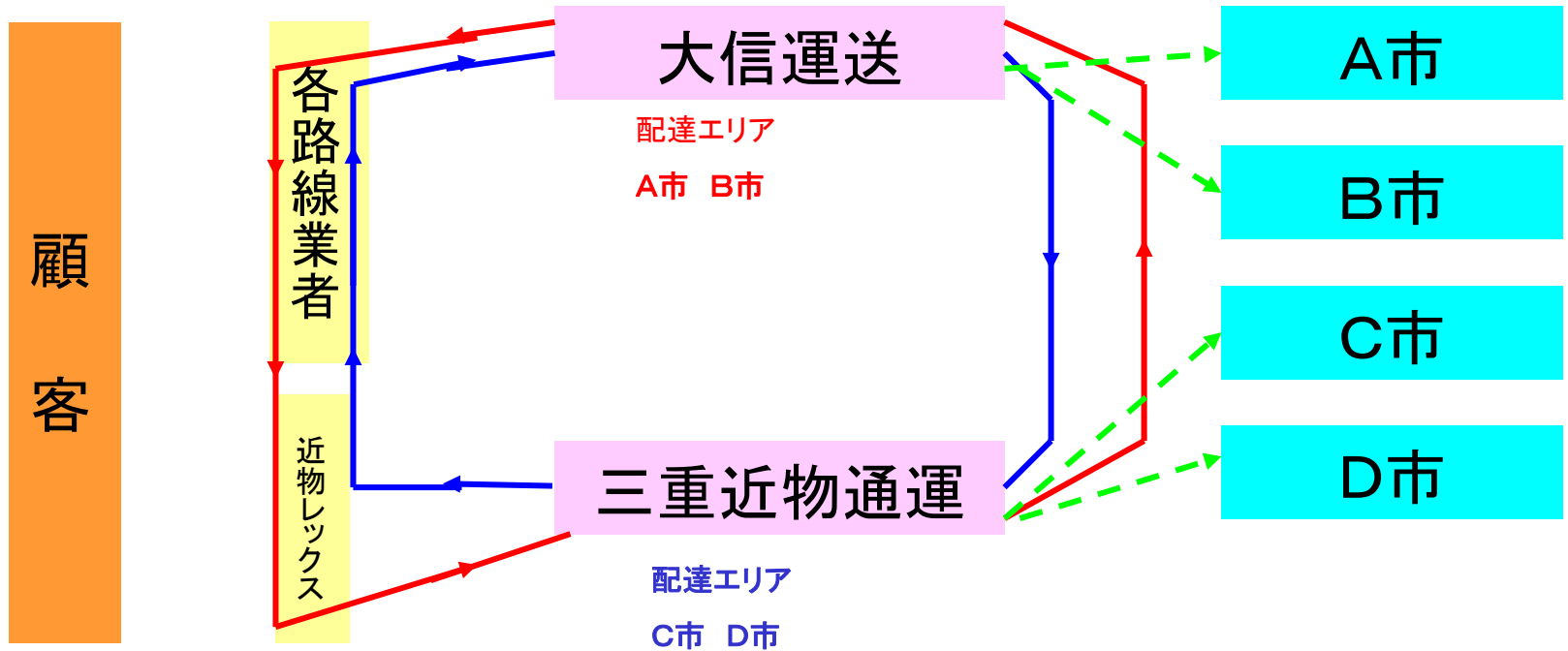


路線業者への集荷から配達エリアまで個々の業者で行っていた

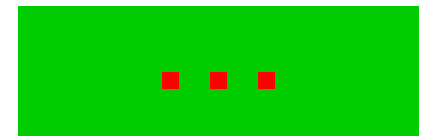
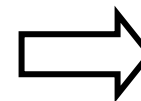


非効率

輸送効率改善



路線業者への集荷を循環方式に切替るとともに、配達エリアを再編する



結果（生み出される効果）

■ ① 輸送コストの低減

- ・燃料費
- ・有料道路費
- ・施設利用費

■ ② エコロジーへの貢献

- ・CO2排出量低減

■ ③ 新規ビジネスの参入

- ・余剰人員を新規案件に振り分け
- ・ドライバー職のノウハウを生かし、営業マンへのコンバート



今後の取り組みについて



■ エコロジーの推進

- ・各企業実務者主導による幹線輸送の見直し
- ・CO2排出量低減に効果のある車両及びタイヤへの代替交換推進
- ・共同配送の提案

新たな時代へ



パートナーシップ

荷主

輸送業者

輸送業者